

# ドナウ通信

No. 39

## 目 次

「東京：1999年2月」		
日本国大使 糠沢 和夫		2
大使館からのお知らせ		5
補習校便り		7
作 文		9
学習研究		
「SFアニメの可能性」		
補習校 中三 長尾 優		15
随 想		19
「追悼キューブリック」	香西 宏	
「ヴィオラジヨーク」	金子 鈴太郎	
	土山 如之	
「音楽を教えるということ」	城島 高明	
討 論 「日の丸・君が代」問題を考える		
	盛田 常夫	30
情 報		
「ハンガリー限定公開・世紀末の日食」		
	栗田 良春	34
掲示板		36

## 東京 1999年2月

日本国大使

糠沢 和夫

欧州大使会議が、東京で2月中旬に行われた。初めて出席するので、正直なところのぞくという感覚もあった。

1. ユーロ、ロシアの将来などについての議論はそれほど目新しいものではなかったが、前者は各大使の欧州感覚を問うもので物の見方に興味をひかれた。

ユーロはまだどっちに行くのか判らない。円だって同じで、通貨については先のこととはよく判らない。ただ、責任ある本省の局長が質問するから、今の自分の考えを明らかにして、将来明らかに間違っていたと判る部分についてのちに反省すれば考えが深まる訳である。ハンガリーは、まだユーロの外側にいるので、別に判断を求められている訳ではない。会議では発言しなかったが、この国のユーロ7割、ドル3割という通貨バスケット

トはそのままにしておいた方がいい。2000年からユーロ10割という風に自分で選択の幅を狭めて得るものはない、と考えている。EUについても、ユーロについても、独仏不戦の誓いが根底にあるから非常にソリッドなものだといふ言い方もなされるが、誓いが誠実なものでも、つまらぬことでうまく行かなくなるのは結婚に限らない。日本システムの崩れ、大企業の地すべりの敗北を見るがよい。いい事は大決意と長い努力によつてしか出来ないのに、崩れるのはふとしたキッカケや数人の不心得者だけで済むのである。それに通貨というのとは比較観だから、アメリカ経済とドルをどう見るかにもかかっている。

ロシアについては、領土にひかれて経済援助に深入りしていくと、ぬかるみに入らないか、と日本の国民の中に不安があり、本省もいろいろな見方をにらみ合わせてやっている。中ソ関係の最近の進展や日印関係の修復の必要性、また北朝鮮の本心をどう見るか、なども考え合わ

せなければならぬ。日中関係がややヒヤツとする関係の相手を同時には増やさないことが必要なのである。

2. 今北朝鮮にふれたが、これは日米関係全体にも影響し、ガイドライン審議の影の主役にもなっている感じを受ける。東京で、電車の吊革につかまりながら雑誌広告をみていると、どの雑誌も北朝鮮が大きくとりあげられている。

話のタネも、テポドン、ノドンから、飢餓、スパイ死体の日本沿岸漂着、人さらいのその後、などいくつでもある。ただ、外交面のうまい取っ掛かりが国民の目に見えない。

北朝鮮は、“一番強い次郎長と直接交渉するので、石松なんかと口をきかぬ”という格好をつけているので、二国間での外交的進展は少ない。1940年の日本のように、インテリ層が仮にいても物が云えない、という雰囲気だから(好意的にみても)、北朝鮮の国内から路線を変えて行くこうにも、うまく切掛が自分で

つかめないのかもしれない。

総じて、北朝鮮ある限り、日本は挙げて日米基軸路線から大きくはずれくない、と内外の目は見ている訳だ。

3. 大使閣下というのはやめて頂こうという議論があった。異論は聞かれなかったが、封筒などの宛名で大使で終わると座りが悪いという人もいた。そう思う人は〇〇大使 太郎殿でいいのではないか。殿が上から下へと云う言葉だという議論もあるが、納税者が大使より上なのはまず間違いのない所だ。

リストラの嵐の中で、納税者の方が苦しんでいるのに、公務員の方がいましばらくうらやまれる立場だ。心して働かねば・・・。

ブダベストでも呼称についてはもう一々お願いを始めている。この次には、古い時代の名残りである英語の H.E. を 10 年くらいかけて直していかねばならぬが、民主主義の本場と自分で思っているアメリカでも H.E. だの Honorable

だのと愚にもつかぬことをやっているので、大分時間がかかるだろう。

4 東京で、小さな夕食会をやってみたが、同じ場所なのに1年もたつて値段が上がっていない感じた。こういう事は初めてだ。料理屋も値上げを我慢する戦略をとっているようだ。ただし、どこにいても混んでいる。さすが東京だ。どこに不況があるかと思う。ただタクシーの運転手はみんな売上が伸びない、とっている。自分の月給で飲み食いがなされているなら、正常化が始まったのだ。

映画は評判の「踊る大捜査線」が物凄いい行列で入れなかった。「のど自慢」という小品を見たが、いまの社会の「泣き笑い」「片隅の真実」「一番目でいいや」という気分をよく投影していた。アメリカの映画では「You got mail」という e-mail をつかったものを観た。e-mail ものでは三年前の日本の「ハル」という作品の方が筋が面白い。ただ、アメリカ映画の男女関係が、仕掛けに負けてしま

うようなのが多いのに、年令からくる「あきらめ」や「つかれ」が浮かんできて大人のドラマになっているところは、味が大人である。アメリカには、「アポロ13号」や「ライト・スタッフ」のような、蒼い空に超スピードで突っ込んで行くような、覇気を感じさせる映画を期待する。小さな良い本屋が新しく進出してきた大書店に押されてつぶれていくのを淡々として描く映画を見ると、アメリカ人も疲れているのだな、と感じる。

5. 大使会議の流れで、経団連と自民党と参議院に行った。参議院（外交・防衛委）では、前と同じように、どことなく民間上がりの外交官にやさしい、どちらかという仲間意識に近い空気を感じた。経団連はそれより自分たちのうちのバカな奴が行ってへマをしまいかと思っている感じ。日本の民間というものは面白い。普通は平気で政府だの議会だの悪口を言うくせに、やはり公けというものに信頼が残っているのである。大分

ゆらいではきているが。

6. 一番気に入ったのはある有力大使の発言で、いろんな大使が、文化センターが欲しいだの東京から文化人を送ってくれるように配慮してくれ、とかおねだりがあったのに対し、「まあ、それも判るが、大使が自分で汗をかこうや。とにかく国がうんと金をつかって公館や公邸を維持してくれているのだから、それにまず我々が応えねば…」といったことだ。納税者のフットコロも今は本当につらいのだから、大使館の横の連絡をよくして節約や効率的使用につとめ、一升のマスがなければ一合マスで十回汲む覚悟でやらなくちゃ、と思ったことである。

(1999年3月5日)

P.S. ランペドゥーサの「山猫」(ヴィスコンティ作品の完全版)のビデオを買ってきたので、今度公邸で希望者は一緒に見ましよう。ビールとワインとチーズクラッカーぐらいを提供します。そうい

えば、クラウディア・カルディナーレの最近の写真を週刊新潮でみたら、昔より静かな目になっているが口元にきかぬ気が残っていて、またCC様になってしまった。

「刑事」(P・ジェルミ監督・主演)の最後で、P・ジェルミの刑事が犯人の若者を捕らえ、パトカーで連行するのをCCが裸足で追う。刑事が逃げるような目で、早く、早く、と運転手をせかして、現場を離れる。音楽が甘くやるせなくかぶさる。それから、ずっと犯罪記事を読むときに、犯罪者の方の事情にも不当なぐらい頭が行くようになってしまった。「第三の男」でも、正義の側に立って友人を殺したジョセフ・コットンの前をアリダ・バリが冷たく目もやらずに通り過ぎるところがあったが、法的に正しく、また高い目線からはやらねばならぬことでも、やったあとすこし忸怩たる思いをもってもらわねば。リストラで会社を立て直した人も「済まぬ事をした」という気持ちがないとついて行けぬ。今の空

爆も、トリガー・ハッピーという気配が少しでもあれば、反感はどうしようもなく広がる。

## 大使館からのお知らせ

### 領事部受付時間

領事部の受付時間は次の通りです。出生届や婚姻届等の戸籍・国籍関係、各種証明書関係（特に無犯罪証明書）については届出用紙への記入に時間がかかりますので、余裕を持って来館して下さい。

受付時間 月～木 8:45 12:15

14:00 15:30

金 8:45 12:15

### 緊急連絡（3月24日現在）

ユーゴ空爆について

ユーゴスラビアは、いよいよ空爆される様相となってきました。在留邦人はすでに退避が実施されており、ハンガリー・ブダペストにも現在3名が逃げ込んでいます。ユーゴ大使館員家族・一部館員については、すでにウィーンに退避、残り大使以下約8名がまだ大使館に残留しています。米大、ドイツ大もクロー

ズされたとのことですので、今後一層緊張度が増すでしょう。

可哀想なのは新領事の飯野さん（法務省矯正局出向）、赴任初日が23日、右も左も分からないまま、いきなり邦人退避の仕事で、昨日（23日）ハンガリー大を訪れました。ハンガリー大館員に挨拶をすませた後、空爆されるベオグラード（？）にとんぼ返りです。もう一方、前任の田代領事（同じく法務省矯正局出向）は本日、家族（館員家族の中で一番最後に退避！）とブダペストに退避予定、そのまま帰国、離任となります。4月1日から現場につくのはちょっと可哀想！いずれにしろ今晚秋山家で宴を催し、慰労の予定。最後の最後でお疲れ様でした。

ただし、可能性としてはほとんどないと思われませんが、最悪のケースとして外交官は国境を越えることができず、人質になったりして…。

今も「ユーゴにサッカーを見に行きたいけど行けますか？」と日本人より電話有

り、こんな問い合わせや退避邦人保護等で、ちょっとバタバタしています。（今週は領事部相棒は出張で、一人きりなのです。）

ちなみに昨日の退避邦人はパリ在住のピアニストでベオグラードであったピアノのコンサートの結果が知りたくてベオグに昨日までずっと滞在していたとのこと…後で電話で聞けよ…人の迷惑かえりみず偉い、芸術家の鏡（？）…ピアニストの方御免なさい。

危険度も最高の（最低の）危険度5「退避勧告」ができました。

参考まで、以下のとおり。

### 外務省海外危険情報

ユーゴスラビア連邦共和国全土

危険度5「退避勧告」

1999年（平成11年）3月23日

ユーゴスラビア連邦共和国に滞在されている皆様及び同国への渡航を予定される皆様へ

1. ユーゴスラビア連邦共和国のセル

ビア共和国コソボ地方をめぐる情勢については、ユーゴスラビア政府当局側は、アルバニア系住民側が署名した和平合意案に未だに署名しておらず、NATO（北大西洋条約機構）がユーゴスラビア連邦共和国に対し、軍事行動を実施する可能性が更に高まっています。

2. つきましては、ユーゴスラビア連邦共和国全土に対し、「退避勧告」を發出しますので、同国に滞在中の方は情勢が安定するまで当面安全な場所に退避するとともに、退避に際し、また退避後速やかに退避手段（便名等）及び退避先を在ユーゴスラビア連邦共和国日本国大使館に連絡して下さい。やむを得ない事情により同国に残留される方は、同日本国大使館と緊密な連絡を維持するとともに、事情が許せば即刻退避して下さい。なお、どの様な目的であれ同国への渡航は当面延期して下さい。

問い合わせ先 外務省領事移住部邦人保護課

東京都千代田区霞が関 2 2 1

電話（外務省代表）

03 3580 3311

（内線）2934

外務省海外安全相談センター

電話（外務省代表）

03 3580 3311

（内線）2901

在ユーゴスラビア日本国大使館

Genex Apartments Vladimira

Popovica 6, 11070 Novi Beograd,

Yugoslavia

TEL: (381-11)311-1434

### 教科書の配布について

領事部では毎年3月に、ブダペスト日本人補習校に在籍していない在留邦人の子女を対象に、日本人の中学校・小学校の教科書の配布サービスをしています。教科書の配布は毎年3月に行いますので、配布を希望する方は毎年3月までに各自、大使館領事部に希望を申し出るようお願い致します。

なお、教科書の配布対象者は、文部省

の規定により原則として、補習校在籍子女及び、海外に長期滞在する全学齢子女とし、永住者（商業活動等により便宜的に永住権を取得せざるを得ない者及び、数年にわたり滞在しているが、永住権を取得しておらず且つ日本に帰国する意志のある者を除く）及び日系子女は含まないこととなっております。

詳細については大使館領事部秋山・杉本までお問い合わせ下さい。

## 補習校便

「どんなクラスになるだろう。」「どんなことが起きるかな。」などと、子供たちは期待と不安を抱きながらスタートした四月。早いもので、あれから一年がたちました。

さて補習校では三月二十七日に卒業式を行い、平成十年度を締め括りました。ここで、平成十年度三学期の行事を中心に補習校の様子をお知らせしたいと思います。

一月度の特別活動は、日本大使館の多目的ホールをお借りして、恒例のカルト・餅つき大会を行いました。今年のカルト大会には、ピラニユシュ・イシユコラから代表の生徒が参加しました。試合は、今年も一層レベルが上がリ、白熱した試合が展開されました。特に決勝戦は、大使御夫妻も見守る中、優勝候補である中学一年生同士の緊迫した試合でした。今年の優勝者は、鹿目 はるかさん、鹿

目 はるかさん、長尾 明奈さんでした。優勝者には、大使御夫妻より特別賞を頂戴いたしました。また、餅つき大会は、駐車場の一角をお借りして保護者の方々のご協力のもと、たくさんのお餅がつきあがりしました。ピラニユシュの生徒たちは、はじめて見る「お餅つき」を不思議そうに見学していました。この紙面をお借りして関係する皆様方やお世話になつた保護者の方々に改めて御礼申し上げます。

次に、二月度の特別活動ですが、小学六年生以上の子供たちとペーチへ現地学習会に出かけました。ハンガリーの電車に乗るのも初めてだという子もたくさんいて、子供たちにとってはちょっとした冒険のようなものでした。初日は大聖堂とジョルナイ博物館をみんなで見学し、夕食後はペンションでボーリングに興じました。夕食前の反省会では様々な意見が飛び出し、「キリスト教やハンガリーの文化のことが少しかつた。」「大聖堂のかべに銃弾の跡があった。」

など、それぞれ見たことや感じたことを素直に語ってくれました。二日目は、子供たちが主体的に計画を立てての班別行動でした。やはり言葉が通じないと警戒心のためか、そんなに遠くまで行く班はありませんでした。とはいえ、自分たちで町中を歩いたり、レストランに入つて食事を注文したり、子供たちにしてみれば初めての経験でよくやったと思います。この現地学習会で子供たちが自分たちの意識で、ペーチやハンガリーの自然・社会を学び、ハンガリー人と交流する一つの機会になつたと思います。

最後に今年度、卒業された児童・生徒を紹介いたします。

小学六年生の佐分利 翔くん、柴田 琢くん、手島 一平くん、伊桜 純子さん、ホロシ・アンナ・まり恵さん、パログ・ナターリアさん。

中学三年生の千賀 実くん、長尾 優くん、野田 真央さんです。

ご卒業おめでとうございます。特に中学三年生のみなさんは、補習校を去り、

各自が新しい道を歩み始めますが、現地校と補習校との両立を成し遂げた頑張りを忘れず、各々の場所で活躍されることを願っています。

また、卒業式と同時に退任式を行いました。退任者は、三年、勤められた西田のみ教諭です。西田教諭は、特に中学生の女子生徒からは姉のように慕われ、生徒からの悩みや相談を受け、熱心に教育指導にあたって下さいました。三年間、本当に有り難うございました。日本でのご活躍をお祈りいたします。

## 大いなる夢へ羽ばたこう!!

教諭 西田 るみ

いよいよ、私たちの活躍する二十一世紀の舞台が、すぐそこまでやってきました。

「二十世紀は、人間が人間をあまりにも殺し過ぎた。二十一世紀は、戦争の世紀から、生命の世紀へ」とある著名人は語っています。一人一人の「いのち」が最も大事にされる時代です。

私が戦争を身近に感じたのは、小学生の頃、家族旅行で沖縄へ行ったときのことです。福岡から飛行機に乗って、写真で見たエメラルドグリーンにかがやく沖縄の海を、私はとても楽しみにしていました。しかし、空港に到着し、米軍基地の横を車で走ったとき、子どもながら大きなショックを受けました。「今は戦争してないのに、どうして飛行機があるの?」「どうして戦争するの?」「こんなの見たくなかった。」と言って、そ

こを通り抜ける間中、顔を伏せて泣いていたそうです。もし戦争になって、お父さんやお母さんがいなくなったらどうしようと思い、悲しくなったのかもしれない。今思い返せば、このことが、平和のために何か自分にできることはなにかということを考えるきっかけになったようです。その頃から次第に、世界中に友達を作れたらいいなあという夢を抱くようになりました。三年前の春、そうした夢の実現の第一歩として、ハンガリーへやってきました。私にとっては、初めての海外生活、初めての教員生活という大きな挑戦でした。そこには新しい発見があり、いかに今までの自分の世界が狭いものであったかということに気がきました。しかし、自分からハンガリーの人々の中へ入っていかなければ、日本で暮らしているのときほど変わらないうということもわかりました。だからこそ、出会った人を大切にしていこうと心がけてきました。みなさんは、お父さんの仕事でハンガリーへ来たという人が

ほとんどでしょう。日本と違う環境での生活は、大変苦労が多いと思います。しかし、現代はインターネットに代表されるようにますます世界が狭くなり、私たちもこれからどんどん海外に出て活躍していくことになるはず。今はつらいかもしれないけれど、苦労している分だけ、みなさんたちには大きな可能性が広がっているのです。負けないことです。自分が強くなることです。自分の心一つで大きく違ってくるのです。挑戦の心を忘れず、強い心の人に成長してほしいと願っています。その強さを持った人こそが、苦しんでいる人、悩んでいる人のために、本当に働ける人になれると思うからです。

さて、私は四月には日本へ帰ります。お別れするのはつらいけれど、これからも教育の仕事を続けていこうと思っっています。そう思えるのも皆さんと一緒に過ごした、この三年間があったからこそだと思います。楽しい思い出をありがとうございました。いつの日かまた、世界

のどこかでお会いできることを楽しみにしています。

## 作文

### 猫

六年 伊桜 純子

私が飼っていた猫は合計して、十匹程になる。その中でも一番おもしろかったのは、メロ。名前の由来はメロンで、兄が付けた名前だった。メロはメロンのように、プクプクと小太りをしていた時期もあり、かわいかった。

メロの一番変わったところといえば、体型が決まることがない！コロコロと変わり、スマートになってかつこよくなったり、太っていてかわいくなったりもする。どんな体型でもかわいく見えるのだから、メロはラブリーでしかたなかった。お得な体質だろう。

私のお父さんは、完全に猫のしかり役

になつてしまった。こうなつたのも子どもたち、つまり甘やかしてばかりいた私、姉、兄の三人のせいだった。しかり役のお父さんは、猫たちに警戒されていた。きみのような事も起こるもので、一番能天気であるメロは、なんとお父さんのひざの上でねむるといふ勇氣ある行動をとつた。たぶんメロは、何も考えていなかったと思う。アメリカで飼っていた猫のゼルも、まったく同じ行動をとつた。なぜ猫はおびえながらも、あそこで安らかにねむれるのだろうか？なぜ？まったくおかしなものである。

メロの母親の名前はオレン。名前は、オレンジから来ている。メロとは全然違いスマートで美人だった。もちろん太るということとは、全くない。少し違うけれど、トラのような模様をしている。大きな目に、小さな頭。オレンはとても用心深い。生まれたばかりの子猫なんかを持ち上げると、心配してテーブルの上に飛び乗り、子猫が無事かどうか手の中をのぞきこんでくる。そのかわいいしぐさを、

ばっちり写真にした。オレンはたしかに美人だった。姉の話によると、多いときには三匹のオス猫が、オレンを訪ねてくるらしい。たまにオス猫を追い返したこともある。それにしても、猫の世界にも優しいとか、美人とかあるのかな…。

## ハンガリーに来て一年半

六年 柴田 琢

ぼくは、一九九七年八月にハンガリーに来た。それから一年以上たった。

一九九七年の日本を思いだし、日本の文化や友達はどうしているかたまたま気になる。友達とは文通をしているが、日本のことか友達のことをあまり書いてくれる人はいないので、よくわからない。ぼくは、ここの生活になれて日本の方がめずらしくなっているのかもしれない。

一年半前、ぼくがアメリカンスクール

に転入したときは、どこに何があつて授業は何しているのか、まったく分からなかった。やっとアルファベットが言えるくらいで、いきなり五年生の難しい授業を受けるのはすごく厳しかった。宿題も毎日夜の十二時までかかり、次の日の授業中もすごくねむたかった。英語の読み書きができるようになるため、英語の本をたくさん読んだり、何度も書き取りの練習をした。

その結果、今では先生の言っていることを聞き取ることや英文を書くのが、最初にくらべずごく楽になった。しかし、六年に上がり、授業はずいぶん難しくなった。それでも、去年にくらべればずっと楽だ。

それでも、いいことばかりではない。英語に力を入れすぎたせいか、漢字の書き取りの力がだんだんおとろえてきた。英語のことばかり考えて、漢字をあまり努力しなかったのがいけなかった。アメリカンスクールの勉強が難しくくて多いので、漢字のことまで頭が回らなかつた。

一年半で、ぼくは大きく変わった。今まで分からなかった言葉や文章などが、分かるようになるのはうれしいことだとぼくは思う。

## ハンガリーに来て

六年 佐分利 翔

ぼくは、今ハンガリーのブダペストに住んでいる。父の仕事の都合で、ここに来ることを知ったのは、去年の三月だった。まず、四月に父が来て、母とぼくは夏休みになってからやって来た。二人の姉は、大学生なので日本に残ることになった。海外で暮らすと聞いたとき、ぼくは、

「うそー。やだよー。」と思った。でも、七月になって成田空港を発つ日が近づいてくると、

「外国に住むなんて、いい経験になるし飛行機に乗るのも楽しみだ。」と思う

ようになった。

ブダペストは、北海道よりも北なのに、フェリフェジ空港に降りたときには、すごく暑かったのでおどろいた。空港からは、父の車でドナウ川を渡って家に着いた。新しい家には、ベッド・机・いす・タンスなど全部そろっているぼくの部屋があつて、その部屋の壁だけ水色だった。窓からは、街がよく見下ろせるし、夜はオレンジ色の電気の光がすごくきれいに見えた。リビングルームには暖炉があつて、広い庭もあった。

八月の末、まずアメリカン・インターナショナル・スクールの一学期が始まった。授業はすべて英語だった。まるで宇宙人がしゃべっているみたいで、まったく分からなかった。最初は、しかたがないと思った。それから一週間後には、日本人補習校の二学期が始まった。六年生は、月曜日と木曜日の週二回、アメリカンの後に、ブダペスト日本人補習校に行き授業を受ける。ブダペスト日本人補習校は、日本語だから落ち着いていられる。

でも、アメリカン・スクールの楽しいところもある。例えば、フォールトリックでミシユコルツに行ったときのこと、暗い洞窟のプールで泳いだり、ハイキングをしたりして先生や友達と思いっきり遊んだ三日間はいい思い出になった。ブダペスト日本人補習校の行事では、特に、文化祭が楽しかった。準備も実行もみんなで協力してやったからだ。

家族でも、秋のごろにウィーンに三日間の旅行をした。広い平原をまっすぐ走る高速道路から見た空は、とても大きかった。ウィーンの街は、ブダペストよりも都会に見えた。ホテルは、そんなに大きくなかったけれど清潔で感じが良かった。

ハンガリーに来て、まだ五ヶ月しかたっていないけど、ハンガリーのことなどいろいろなことが分かってきた。これからも、もっとがんばっているいろいろなことに挑戦していきたい。いい友達もたくさんできたし、今ではハンガリーに来て良かったと思っている。

## 飛行機が嫌い

六年 手島 一平

十二月二十五日、今日はイタリアへ旅行に行く日。ぼくは、胸がすぐドキドキしている。ご飯を食べていても、空港に行くタクシーの中でもドキドキしている。空港に着いたとたん、胸がむかむかして苦しい。

「あー飛行機に、乗りたくない」と言ったら、お母さんが

「なんで」と聞いてきた。

「実は、ぼく飛行機のものすごくうるさい音のせいで耳が、きーんとか耳がつまったような感じがするから、絶対にぼく乗りたくないんだ」

すると、母さんが言いました。

「耳栓をすればいいでしょ」

「だって、耳栓をしても痛いから飛行機に乗りたくないんだもん」

そして、いよいよ飛行機に乗るときがきてしまった。飛行機は出発した。「あ

れ、耳が痛くないぞ」

「やった。耳が治ったぞ」

そのとき、ぼくの耳にうるさい音が聞こえてきた。

「あー、痛いよー」ぼくはお菓子を食べてみた。いろいろなことをして治そうとしたが、まったく効果はありません。その時、外を見ました。

「あつ、なんて高い塔なんだろう」と言いました。

「あの塔は、何年前に作ったの？」

と父さんに聞きました。

「だいたい三百年前くらいじゃない」

そして、いよいよ着陸しました。その時に思いました。

「あれ。さつきまで耳が痛かったのに、なんで痛くないんだ。もしかして、もう飛行機に乗っても大丈夫なのかもしれない。やったー」

「でも、次に乗っても大丈夫かな？」そして、帰りの飛行機。ぼくは、一度も耳が痛くなりませんでした。ぼくは、もう飛行機が嫌いではなくなりました。

## 私のベストフレンド

六年 バログ・ナターリア

友達は世界で一大切なものの一つだと思います。友達とは何でも話せます。そして、私にアドバイスをしてくれたり助けてくれます。本当の友達は、信じられません。

私の友達の名前は、エニーです。（ソバトヘイの幼稚園の友達の名前もエニーでした）エニーの髪は長くて金髪です。小学校一年生からの今まで私の一番の友達です。

今までエニーにいつぱい私の秘密を話したけれど、エニーはだれにも話しませんでした。エニーのスタイルは時々乱暴だけど、いつもかわいくて元気です。エニーは、一週間に一回はけりあいのけんかをしています。（私は、これを見て、かわいいなーと思います。）エニーは勉強は好きではありませんが、絵とか陶芸が好きです。エニーは、毎年キャンプで

作った花瓶やプールの種ネックレスや犬の形の小物入れをくれます。合宿に行ったときはいつも同じ部屋で寝ています。(今までに一回も眠ったことはありません！いつも朝まで話していました。)

学年のはじめに、どこでも自由に座れたときに私たちはいっしょに座りました。でも、授業中でも話をしていたので、先生たちは、私たちを別々の遠くの席にしてみました。(でもこれはクラスではよくあることで、みんな同じです。)

十月から三ヶ月間、一緒にギムナツウムの算数の授業を受けに行きました。五時に帰るときにはもう暗かったので、私は

「ちよつとこわい。」とエニーに言いました。エニーは、  
「こわくない、こわくない。」と言ったけど、本当はこわがっているのが私にはわかった。(エニーのこういうところが私はとても好きです。)

エニーは私にとって世界一の友達で

す。そして、エニーに出会えたことは、本当に幸運なことだと思えます。

## カルタ大会

六年 ホロシ・アンナ・まり恵

一九九九年のカルタ大会は、はらはらどきどきだった。ほとんどの子は毎日カルタの練習をしていたが、私はほとんどしなかった。というより練習できなかったといった方がいい。そのわけは、私の通っている学校の宿題が山ほどあるからだ。宿題が多いと夜遅くまでかかる。終わったと思うと、明日は早いのでもう寝なければならぬ。ほかの人は、私にくらべてよく練習していたようだ。カルタの最初の五文字を聞いて、一・三秒たっただけで、素早くとってしまう方もたくさんいた。それでも、私たちのチームもそれほど弱くなかった。私たちも好きなカルタがいくらかあり、それを読まれ

るたびに取っていた。

一番初めの勝負は何とか勝ったが、残りの二つの勝負は残念ながら一・三枚の差で負けてしまった。私が練習しなかったのがいけなかったのだ。

うれしかったのは、補習校ではなかなか会うことができない友達と会えたことと、大嫌いだっただおもちがやつと平気で口の中に放り込むことができたことだ。

来年は、ちゃんと練習して一等賞を取るぞ！

## 中学校生活

中三 野田 真央

私の中学校生活で一番忙しかったのは中一の時でした。春に名瀬中に入って、二学期の終わりまでその学校で過ごしました。中一の頃は部活の他に先輩や同級生とのトラブルが連続して毎日がすごく早く思えました。

けれど大変だっただけでなく、毎日ですごく楽しかった気がします。そんな生活とは全く逆の生活が始まったのは中一の冬からです。

親の仕事でわけもわからずハンガリーでの毎日が始まりました。最初の二、三ヶ月は本当にわけがわからず忙しかったことしか覚えていませんが、それからの毎日はアメリカに慣れないためにイライラして、ハンガリーへの不満や来たことを後悔する毎日でした。

学校では勉強についていけず、友達も日本の時とは全然違い、なかなか仲間に入

っていきませんでした。家に帰ると毎日日本のコトをなつかしく思って、仲の良かった友達は今何をしているのかなどと日本のことばかり気にかかりました。今の私の気持ちや考えを聞いてくれる友達を早く見つけなければと思うようになってきました。

一年を過ぎた頃からだんだんアメリカの子達とも仲良くなり、話が合う子もできてきました。

9年生になると勉強はもつと大変になりました。けれどもスポーツやボラunteiaを通して色々と話し合ううちに仲のよい友達が出来ました。

けれどやっぱり日本の友達と比べてしまったりしました。でも、もうハンガリーに住んでしまっていてこれ以上暗くしても仕方ないな、と思い少しずつ明るく考えるようになっていました。

私にとって中学校生活で一番大切にしていたのは友達です。日本とアメリカの二つの学校で仲の良い子が出来たのは本当に良かったと思います。

今はまだ、なんでこんなトコに私がいないかやいけないの?とか、勉強も大変で、なんでこんなコトしなきゃいけないんだ、いったい誰のせいだと悪い方へ考えることばかりです。でも、いつか日本へ戻ってからハンガリーでの中学校生活でいいこともたまにはあったかなと思えるようになればいいと思います。

マイナス思考の今の私の目標は、二年半後に卒業することです。そしてその二年半は高校生活最後でもあるので、より楽しく過ごしたいと思います。

# 学習研究

## SFアニメの可能性

補習校 中三 長尾 優

SFとはサイエンスフィクション、つまり空想科学物語のこと。このジャンルはアニメの中でも世界観や設定のリアリティが最も要求、追求され、ストーリー的にも奥の深い物が期待されるのである。「鉄腕アトム」のような子供向けのものから「功殻機動隊」のようなハードな物まで存在する幅広いジャンルといえます。舞台は基本的に近未来もしくは未来とし、科学的根拠に基づいて構成されたストーリーをSFの定義とします。上記の「科学的根拠に基づいて構成されたストーリー」というのは、単なる架空や想像の世界ではなく、それを可能にする

ることのできる理由の裏付けのある架空や想像の世界のことをいいます。所詮は机上の空論でしかない理論付けも、どこかに現実性を見出せればこのような世の中があってもおかしくはないと思えます。最も効果的な手法の一つは自分たちの生きている社会と作品の中の世界をリンクさせることです。ありふれた例として、今の四輪走行車が支配するハイウェイを将来ホバークラフトと入れ替わっていたり、ロボット技術が進歩してサイボーグを生産できるテクノロジーが誕生する、などがあげられます。これがこのジャンルと他のアニメジャンルとを分ける所以であり、また人の心を引きつける要素でもあるのです。

### SFと他のジャンルとの違い

本題に入る前に一つ、SFアニメの見分け方から始めたいと思います。「ドラエもん」と「サザエさん」という二つのアニメがあります。一見、SFアニメとは無縁のように感じられる二作ですが、

片方はれっきとしたそれにあてはまります。そう、「ドラエもん」です。我々視聴者はドラエもんのび太君との暮らしを日常的な生活のシーンとして受け取っています。あまりにも親しまれてきたこのキャラクター達と現代という生活環境だけがこの番組の主なイメージとして私達の頭の中に定着しています。そのためSFアニメという認識は薄く、「サザエさん」と同一のジャンルにあると解釈されてきました。しかし思い出してみてください。副セティングである近未来の二十一世紀で開発・生産されたネコ型ロボットドラエもん。どんな物でもつかめる液体合金製の丸い手。幾千もの二十一世紀デパートで手に入れた道具をポケットから取り出す度に即その名前をあげられる豊富な情報蓄積能力。そして的確な判断力と人間的感情を合わせ持つ超高性能メカ。さらに彼が所有する数々の道具、例えばタイムマシン、タケコプターや四次元ポケットなどもまたSF的テイストをかもし出して

います。したがって、「ドラエもん」はSFアニメのジャンルにフィットするのです。「サザエさん」の方はといえば、これはあてはまりません。セッティング、内容、登場人物どれをとっても特にSF感と言ったものは受け取れず、これはファミリー物のカテゴリーに入ります。

### SFアニメの歴史…始まりと発展

物事のこれからの可能性を予測するには、まずその過去を見つめ、今に至るまでそれを比べてみるのが大切です。まずは形式的な物、つまり画像、動画、各シーンなどアニメを構成する表面的な材料、そして実質的な物、例えば設定や音楽など表面に磨きをかける内面的な素材を観察していきます。

一九六三年、元祖SFアニメと謳われる二作「鉄腕アトム」と「鉄人28号」が白黒画面に現れました。一九七五年、再放送で盛り上がりを見せた「宇宙戦艦ヤマト」と七九年の「機動戦士ガンダム」。アニメの大きな転換期の方向付けをし

た両作はアニメ戦国時代へと業界を引っ張るきっかけともなりました。そして一九九八年、今の日本を代表する名作である「新世紀エヴァンゲリオン」や「機動警察パトレイバー」などが生まれました。

白黒が主流であった頃、「鉄腕アトム」を含む日本の動画にはどこかぎこちないところがありました。それに比べ、当時のミッキー・マウスの動きはスムーズなものでした。この差には何があったのか。一つはカット数の少なかったことでしょう。一秒間に流すカット数が多ければ多いほど、より自然な身体可動の表現につながります。もう一つはキャラクターの動き方に派手さが欠けていたことでしょう。次に画質。初期の頃、アニメは「子供の番組だから」という考えもあり、細部までこだわる理由は特にありません。ディテールの不足した作品は大人や十代後半の世代の視聴率の関心をそぎ、次第に子供番組の枠にのみこまれていきました。各シーンも似たような視

点からしか描かれておらず、バックミュージックも決して種類が多かったとは言えず、毎話新鮮さが不足していました。設定にもあやふやなものがあり、説得力を持つに足りませんでした。

これらは当時に見れば良いもので、言い換えれば人々はこれで満足していたのです。しかし人は絶えずよりよいものを、より新しいものを求めます。この欲望が発展に対する原動力であり、社会をこれまで動かしてきました。三十余年経過した現在、「鉄腕アトム」を今のアニメと重ねることはできません。それだけ高度化したアニメ制作技術ですが、果たしてそれはどう変わったのか。

まず、アニメの舞台であるテレビの性能が向上したことです。カラーになったためアニメには新しい表現方法が設けられました。最近のアニメはテレビシリーズであれどあなどれないものがあります。今の私達の目から見られる「鉄腕アトム」の不足点に対し、七四年初回放送された「宇宙戦艦ヤマト」の時点では

とんど克服されており、その克服点をさらに飛躍的進歩させたのが今のアニメの姿なのです。映画版やOVAでは絵のクオリティが極限にまで高められており、その出来は美しいとしか言いようがありません。カット数はテレビシリーズでも一秒間十六枚前後が当たり前となっており、各キャラクターの動作に活発

さが増したため、激しくかつスムーズなアニメーションが可能になりました。各シーンはSFアニメならではのマニアックな場面が今になって多く活用されるようになりました。というのはこの場面があってもなくてもストーリー進行上特に支障の生じないような“おまけ”の場面的ことを言います。その一例として九五年放映の「新世紀エヴァンゲリオン」よりエントリープラグという円筒形のパイロット保護システム兼操縦席がロボット（正確には人造人間）の背中に差し込まれるシーンを取り上げます。

「エントリープラグ挿入」の音が聞こえてからメイン、副ロック及びセーフ

ティ解除。オールグリーンランプ点滅と同時にプラグ注入。左右よりスチームが発生した後、システム接続。システムクリアのランプが点滅し、メイン、副ロックがロックオン、プラグ固定完了でプラグ挿入装置が下向。最後にカバーがあり、そのロックが済んだところでエントリー完了。

劇中ではこれがわずか三〜四秒の間で行われます。これはロボットを動かすための一フェーズにすぎず、このあとロボットにかかったロックボルト解除や主電源接続などの作業が行われ、初めてロボットは人的制御下で作動するのです。非常に短く、大して重要でないシーンですが、SFアニメの作品にリアルな印象を当て得るには必要不可欠なものであり、過去のアニメ戦国時代以前に例を見ない（マジンガーZ等一部除く）新しいSF手法です。

「新世紀エヴァンゲリオン」の設定も実にしっかりとしたものが用意されています。本ストーリーは、時を二〇一五

年という今からそう遠くない未来に腰をおろしています。これ以前の設定である一九九九年から二〇一四年までの出来事も存在します。よって本作は一つの歴史の流れを持ち、さらにそれを推進することで一つの現実世界、ありえる世界を成り立たせているのです。一九九九年に起きたある事件をきっかけにその後国連直属の非公開組織ネルフやマルドゥック機関が結成されるなどして各組織の存在意識を作り上げ、その存在に意味を持たせることによってその存在自体から違和感を消し去っているのです。その過程を築き上げたことから結果としてその組織は「あってもいいもの」とされ、自然にそれを受け入れることができるのです。

最後に「新世紀エヴァンゲリオン」で紹介したいのは、作品の中で使用された数々の曲についてです。コミカル、ハイテンポ、クラシカル、オペラなど多様な様を極める曲群はその圧倒的数とこの上ないすばらしさで出来上がっていま

す。ムード作りが主な仕事であるアニメの中のバックミュージックですが、「新世紀エヴァンゲリオン」ではそれぞれの役割がはつきりしています。それだけでなくできているわけですが、これは昔と違い作曲に対しても熱心なる姿勢が見受けられるからです。

### 新たな挑戦

約三六年かけて成長してきたSFAニメジャンルですが、アトム、ヤマト、エヴァという成長の過程におけるメイソンポイントを見て何か気付いたことはありませんか。ヤマトの時点ですでに塾生が住んでいて、それ以降は進化の路線に移り変わっていることです。「新世紀エヴァンゲリオン」もまたそのプロセスの一端を担うものであり、今後の作品に大きく影響していくことでしょう。質量も高まってきた今、これからSFAニメに望める可能性とはなにか。一つは視野の拡大。エヴァもヤマトもストーリーが一ヶ所にしか集中していないように

見えます。もっと多くの場所を頻繁に出すことによつて高所で同時展開され、平行的に進んでいくストーリーラインが必ずです。これを可能にするためには物語を一個所にとどまらせた原因たるもの、すなわち主人公を取り除くことです。これは九四年放映の「新機動戦記ガンダムW」で主人公を取り除くのではなく、主人公を一人から五人へと複数にすることによつて解決しています。これによりストーリー自体は限りない柔軟性を取り得ますが、大きな欠点もいくつかあります。受け手はそのあまりにも巨大すぎる情報量とストーリーをどう把握するか。送り手はその大きすぎる作品をどう一つの系につなげるか。多大なる時間と労力を有する上に、この案を決定に導くのもまた困難きわまりないことです。そして真の問題はストーリー造りではなく、それをどう縮小し、それでいて理解しやすく組立てることができるかです。制作サイドの腕が試されます。

これらの問題を突破できればSFA

ニメの新たな開拓地と可能性が開けるわけですが、この案もまた一例に過ぎず、他にもいくらでも可能性はあるのです。それを誰かが探し、誰かが見つけ、そして誰かが開花させる。このパターンは幾度となく繰り返されてきました。現実的にも幻想的にも見えるSFAアニメの世界。このミライジユの空間は人類に未来がある限り未来永劫広がりに続けるでしょう。それは人の革新、夢、希望であり、何よりもSFAアニメは「可能性」そのものだから。

## 随想

### 「追悼キューブリック」

香西 宏

3月の始め、旅先のホテルで何気なくテレビをつけると、スタンリー・キューブリック監督本人のビデオ映像が流れていた。滅多なことではプレスに姿を現わさない人なので食い入るように見ていると、7日ロンドン郊外の自宅で70歳で亡くなったと聞き、大層衝撃を受けた。早速、街のキオスクで欧州各国の新聞を探すと、各紙一面で大きく扱っていたが、米紙の一部では、翌日亡くなったジョー・ディマジオの記事に紙面を圧倒されがちであり、随分腹立たしい思いをした。

キューブリックといえば、映画界に残された今世紀最後の巨匠といっても過

言ではなく、その完全主義を貫く製作姿勢、一目で彼と判るリアルでシャープな映像スタイル、逆説的・諧謔的なテーマで、世界中にファンが多いが、一方でどこが感動するのか解からないと途方にくれる聴衆も少なくなく、実際未だにアカデミー賞（監督・作品）とは無縁である。筆者は最近殆ど映画を見ないが、彼の作品の中で、初期の一作品と、未だ公開されていない新作（今夏の公開が待たれる「アイズ・ワイド・シャット」）を除く11作品全てを見ている、自称「キューブリックおたく」である。彼の死を機に、その生涯の軌跡と、作品群を振り返ってみたい。

#### 映画作家への道

キューブリックは28年、NYブロンクスで、著名な医者の子供として生まれた。報道によれば中欧ユダヤ系の家系とあり、中欧とは他でもないハンガリー系だという話を聞いたことがあるが、Kubrickとは断じてハンガリー人の名

前ではない。おそらく先祖が亡命したとき、英語式の名前に改めたのだろう。始め、ジャズドラマー志望だったのだが、父に買い与えられたカメラが機で写真狂になる。また12歳で、同じく父親にチェスの手解きを受け、名人級にまで上達する。学業は余り振るわなかったが物理だけは得意だったらしい。大学進学を諦め、17歳の若さで写真の腕を見込まれルック誌の専属になり、一躍、同社の花形カメラマンとなる。やがて知人から資金を借りて、映画作りにも励むようになり、一部の批評家から注目されるようになる。彼の映画は、1ショット1ショットが、ピントが合いすぎるくらい鮮明で、また筋運びに緊張感と独特のリズム感があるが、こうした才は10代の多趣味から培われたものだろうか。

ユニテッド・アーティストスが配給した「現金に体を張れ」（56）が初のメジャー作品であり、幸いにも製作費を回収する以上にヒットした。その後「栄光の道」（57）「スパルタカス」（60）

と来て、問題作「ロリータ」(62)が出る。

最初の2作品を監督するにあたり、製作者兼主演俳優のカーク・ダグラスとの間で作品内容を巡り相当な確執があった模様で、このときの経験から、彼は監督面のみならず製作サイドでも最終的な実権を握らなければ、本当に納得の行く映画作りはできないと悟った。完全主義者キューブリックの誕生である(余談として、昨年物故した日本の巨匠黒沢明も完全主義で知られていたが、それは監督サイドに限った話である。ドストエフスキの「白痴」を映画化したとき、製作会社に3時間を超える尺数を興行上の理由から咎められ、徹底した短縮編集を迫られた時、「どうせ切るなら縦に切れ」と泣く泣く訴えたという話は有名だが、ことキューブリックの後期作品については、こうした悲劇は理論的には起こりえない)。またハリウッドではカメラマン組合の厳格な規定があり、監督はカメラのファインダーを覗くこともま

まならない。こうした旧弊な体制では、彼の指向する職人的な映画作りは到底困難なので、彼は「ロリータ」を監督した時期を境にハリウッドを去り、終の住み処を英国に移してしまふ。

この後英国の自由なスタジオシステムで関連に製作された、「博士の異常な愛情」(64)(原題「Dr.Strangelove」、(人名)の誤訳が日本では定着!!)、  
「2001年宇宙の旅」(68)、「時計じかけのオレンジ」の3作品が、日本でもSF3部作として有名で、一躍、押しも押されぬ巨匠の仲間入りをする。

## 2001年宇宙の旅

「2001年」が公開されたとき筆者は小学生で、街角で見かけた、宇宙ステーションとドッキングするシャトルのイラストのポスターが強烈に印象に残っている。アポロ11号の月面着陸が翌年であり、世界中に宇宙旅行を空想ではなく現実として捉える機運が高まっていたが、二千番台の頭でっかちな年号自体、60年代当時遙かな未来として感じられたものだ。この頃彼は、日本ではカブリックと呼ばれていた。

映画では冒頭、地球からパンナム(この航空会社はもう存在しない)のスペースシャトルが、赤道上空を周回する宇宙ステーション(ここでの宿泊はヒルトンホテルが独占営業していた)を経由し、大規模に展開した月面基地に辿り着くまでの宇宙旅行の経過が極めてリアルなショットの切り返して描かれていた。感度の良いフィルムもパソコンもCGもない60年代によくぞここまで完成度の高い特殊効果が得られたものだ

思う。「サンダーバード」から後の「機関車トーマス」に連なる伝統ある英国特撮陣の力量に負うところが無論大きい。こうした特殊効果シーンも、実はキューブリック本人が直接陣頭指揮しているのである。最近の映画では、便利になった特撮部分だけが一人走りすぎ、全体トーンの統一が損なわれるケースが少なくないが、要は各ディテールまで透徹する大きなヴィジョンをもった監督がいなければならぬ。CGを手にしたからといって、ルーカス／スピルバーグの高校生コンビはまだまだ映画自体の修業が足りないのだと言わざるを得ない。

ただし「この目で見る33年後の未来」という宣伝文句に引かれて、手塚治風の薔薇色の空想未来像を期待した人の多くは、映画を見て大層失望しただろう（因みに手塚は当初、この映画のプロダクション・デザイナーに監督本人から乞われるも、最終的に固辞している）。一連のショットはリアルだからといっ

て、必ずしも観客を「感動」に誘うようには設計されていない。BGMの「美しき青きドナウ」も、スターウォーズのテーマ曲のような勇ましい感興は一切催さない。キューブリックはこの映画を、こうした宇宙旅行が日常茶飯と化した来世紀に生きる人が持つであろう醒めた「同時代人」の目で、あたかもドキュメンタリーを撮るようなタッチで描いており、観客にもそうした冷徹な目を求めているのである。その証拠に、右シャトル内の唯一の乗客である宇宙科学者は、窓外に繰り広げられる壮大な星々の光景をよそに、前日までの会議の疲れが溜まったのだろう、終止機内で熟睡しているのである。この辺りの意図を汲めなかつた聴衆もまた公開当時、博士同様劇場座席で睡魔に捕らわれたことであるう。

事情は、木星に向かう宇宙船ディスカバリー号の船内でも変わらず、2名の宇宙飛行士は、黙々と船内のルーティン・ワークに励む他、会話は最小限で終止無

表情である。船内唯一多少人間的、情緒的な会話を行うのは、搭載された、コンピュータのHALというのはこの映画最大の逆説となっている（HALはIBMの1文字ずらしという説があるが、製作サイドは偶然の一致とのこと、原作者の1人A.C.クラークによれば、正式には Heuristically-programmed Algorithmic computer の略との由）。

この映画を製作した当時、キューブリックは、描かれた未来像を可能な限り実現可能な科学的根拠のあるものすべく、NASAやIBMの第一線の

科学者・工学者を顧問にすえたが、2001年まで、後2年と迫った現在、現実には映画が予測した未来社会には未だ遠く及ばないようだ(唯一、チェスの世界チャンピオンを負かせたIBMのディープブルーがゲームの分野でHAL並の力を付けたことを除けば)。

この映画は来世紀の再上映に向け、題名を「2100年」に変えても、充分将来の鑑賞に堪えるのではないが。DVDでも到底大刀打ちできない70mm大画面本来の迫力を体験するためにも、その時は、今や日本では死滅したに等しいシネラマ方式の上映館を再設してもらいたいものだ(68年のロードショーを行った京橋のテアトル東京跡地には今、西武系のホテルが建っている)。

## バリーリンドン

「バリーリンドン」(75)では、描かれた時代が「時計じかけ」の未来から、いつきに3世紀程溯り、18世紀の欧州が舞台となつてゐる。キューブリックは当時の屋外風景を撮るに当たり、英国の水彩画家の絵を手本にして、極力自然光のみで時代の空気を再現することに成功している。一方屋内のシーンでは、18世紀当時の照明装置であつたロウソクを唯一の光源として撮影するために、NASA仕様のツァイスの特殊レンズを搭載できるカメラを、特注で自ら開発したのだという(時代ものといえば、白粉の肌理や、かつらの生え際まで判るぐらい、こつこつと照明を焚いてスタジオ撮影することに慣れた、NHKの大河ドラマスタッフには、一度この映画をとくと見てもらいたい)。撮影面での困難を、その時点で最先端の工学を涉猟酷使することで、技術的に解決するというのは彼の一貫した手法で、ドルビーシステムやステディカムのように彼のお陰で、

映画界に広まつた技術は少なくない。

この映画には七年戦争当時欧州大陸での1エピソードとして、大平原を鼓笛隊に先導され行進する英国軍と、これを整然と隊列を組んで待ち構える仏軍の対峙を描いた、華麗な戦闘シーンがある。このシークエンスは基本的には、両軍を各々真横から捉えたカット、行進する英国兵士の肩越しに待ち構える仏軍隊列を捉えたカット、対峙する仏軍鉄砲隊員の肩越しに迫り来る英軍隊列を捉えたカットが、劇中の鼓笛隊の行進曲がリアルタイムで一貫して流れる中、交互に切り返されて構成されている。

最初に見たときは、大規模な群集シーンであり、撮直しが利かないから、黒沢明が「7人の侍」でやったように、4台程度のカメラを同時に回しっぱなしにして、後でうまく編集したのだと思つた。けれども両軍が対峙するような構図では、一方のカメラに相手方のカメラが映り込んでしまうからこれではうまくいかないのである(コッポラがヴェトナム

戦争を描いた「地獄の黙示録」で使った、映ったカメラマンに軍服を帰せて、従軍撮影記者に仕立て上げるというあざとい手法は、カメラが発明される以前の18世紀の歴史物では通用しない。また撮ったあとで、CGを酷使してカメラだけを消すというデジタル技術は70年代には存在しない)。結論としてこのシーンを撮るための唯一の解決策としては、寸分変わらぬ同一の群集シーンを何度も何度も再現させて、その度にカメラの位置を変えて撮るといって、極度に手間のかかることをやっているとしたか考えられない。際限なく続くシーンに延々付き合わされるスタッフと役者の苦労は御同慶の至りであるが、全ての俳優の動きをチェスの駒のように掌握し、カメラの動きも頭に入れた上で、舞台上のダンスの如き精緻な振付を、屋外のスペースクタクルシーンの場で実現するキューブリックの演出技量はまさに非凡としか言い様がない。

「バリーリンドン」はこうした絢爛豪

華なシーンのオンパレードといった感のある重厚な映画であるが、いわゆる魅力的なキャラクターをもったヒーロー・ヒロインの類いは、「2001年」がそうであったように、一切登場しない。観客の感情移入を排除するかのような悪党の主役と、小市民の域を

出ない脇役達は、いずれもキューブリックの「駒」止まりであり、各員そこから自己主張することは許されない。「風と共に去りぬ」のようなハリウッドの伝統的な文芸作品を求めた聴衆はかくしてカタルシスの場がなく、またしても肩透かしを喰うことになる。この作品を失敗作と決め付ける批評家は実に多い。

### 80年代以降

キューブリックは1つの映画を作るに当たり、調査等で入念な準備期間を置く上、手間隙かかる撮影終了後も、編集等ポストプロダクションだけで優に1年ぐらいの時間をかけるから、勢い寡作となるが、この傾向は80年代以降特に顕著である。「バリーリンドン」の後には、「シャイニング」(80)、「フル・メタル・ジャケット」(87)と現代ものを2作撮った後、今年公開の最新作トム・クルーズ主演「アイズ・ワイド・シャット」迄、じつに12年もの月日が流

れている。彼は「時計じかけ」以降の全作品をワーナーブラザーズで撮っているが、同社との最新作を巡る契約では、作品の出来栄えに満足できない場合、公開を差し止める権利を彼に認めさせている。ここまで自分の作品を全方向でコントロールできる監督は古今東西を見渡しても未曾有なのではないか。

因みにこの最新作は前世紀末オーストリアの作家シュニッツラーの小説を原作としているが、「同じ作家の「輪舞」を映画化した、マックス・オフルスを、キューブリックは最も影響を受けた映画監督として挙げている。空間を点縦横無尽に移動しながらなお画面の構図が崩れないカメラワークの冴えは、彼から学んだらしい。

キューブリックの生涯の夢は、ナポレオン將軍の伝記映画を撮ることであり、先の「バリー・リンンドン」はその製作に向けての小手試しだったという話を聞いたことがある。彼は、ナポレオンの戦闘キャンペーンに向けての周到なロジの

組立方に、自らの映画作りの手法を重ね合わせたに違いなく、天才のみが天才を発見するということなのだろう。また同人の生涯を仔細にリサーチし、任意の日の彼の行動がすぐに検索できるよう、なデータベースも作っていたというが、資金面で折り合う製作会社が見つからず、プロジェクトは今日まで頓挫してき

た。  
幾ら制作費が高騰したといっても「タイタニック」で高々200億円強である（因に国際交流基金の年間予算もこれぐらいか）。彼の知名度をもって世界市場を相手にすれば充分採算は合うという見通しの下、バブル崩壊後も気を吐く日本の超優良企業数社が集まって出せない金ではないと思ってきたが、本人亡き後、今更何を言っても手遅れである。ただただ鬼才の天上での冥福を祈るしかない。

## ヴィオラジヨーク

金子 鈴太郎

土山 如之

皆さん ヴィオラという楽器をご存じでしょうか。

ヴァイオリンより少し大きく、少し低い音のする弦楽器です。

また弦楽四重奏（第一ヴァイオリン、第二ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ）においては下から2番目のパート、オーケストラ内では弦楽器も中音域を担当する楽器です。

今回原稿を依頼されて、何を書こうかととても悩みましたが、現在私たちはリスト音楽院にてチェロの勉強をしているため、何か音楽に関係することを…と考え、

「ヴィオラジヨークを紹介しようじゃないか!」ということになりました。チェロ専攻である僕たちが、なぜヴィオラなのか?

それは、ヴィオラという楽器はオーケストラ内の他の楽器に比べて類を見ないほど沢山のジヨーク(冗談)が存在するのです。ジヨークが生まれやすいこのヴィオラという楽器、奏者の特性を2点にまとめてみます。

まず第一点。オーケストラにおけるヴィオラパートというのは旋律的(メロデー)ではないパート、すなわちメロデーを弾くヴァイオリンよりも技術的には易しい楽譜を演奏することとなります。そのため普段は易しいパートを演奏しているのですが、難しいフレーズが出てくるとヴィオラ奏者はそれを一生懸命弾こうとあがきます。

そのギャップが非常に滑稽であるということ(つまり普段難しい所があまりない!ということですね)。

そして第二点目は、ほとんどのヴィオラ奏者がヴァイオリンからの転向であるということ。

「ヴァイオリン奏者としてはもう一つ足りないのでは?」と考えた指揮者が

転向させる(まあこれはヴァイオリン奏者に比べヴィオラ奏者の数の方が圧倒的に少ないということもありますが…)。

このようなことからヴィオラ奏者はヴァイオリン奏者になれなかった者、より劣った音楽家、として見られがちになるのです。

それでは、幾つかのヴィオラジヨークを紹介します。

・一瞬の停電の際に、テーブルの上のキーが盗まれてしまった。犯人は次の3人のうち誰だろうか?

1. 下手なヴィオラ奏者
2. 上手なヴィオラ奏者
3. サンタクロース

答え: 下手なヴィオラ奏者(理由後の2者は架空のだから)

・最近のデジタル録音ではヴィオラの音が聞こえないんだって?

うん。技術の進歩で、ノイズは全て除去できるようになったから(これはヴィ

オラの音程が非常に悪いということ  
を言いたいのですね」。

・ヴィオラ奏者と目覚し時計はとても  
似ている。

どちらも快適なときを妨げる。  
音を出すとすぐ止められる。

(オーケストラ練習の時、音程が悪く間  
違いが多いため)しかし、ヴィオラ奏  
者と目覚し時計は全く違う。目覚し時  
計は必要とされる(可哀想に…ヴィオ  
ラ奏者は全く必要ないのでね…)。

・著名な冗談好きの道楽家がベルリン  
行きの飛行機に乗ってきた時、隣の席  
の人とちょっと仲良くしようと思っ  
た。

「面白いヴィオラジョークがあるんだ  
が、聞いてみない？」

「実は、私はヴィオラ奏者です…」  
「大丈夫、大丈夫、君でも解るように  
ゆっくり話すから…」(これはゆ  
っくり話をしないと理解できない、頭

が悪いことを言いたいジョーク!)

・ヴァイオリン弾きとチェロ弾きとヴ  
ィオラ弾きがほら吹き合戦をしてい  
た。

ヴァイオリン弾き「ある上手なヴァ  
ィオリン弾きがバルトークのヴァイ  
オリン協奏曲を右手と左手を逆にし  
て玉に乗りながら弾いたのを知って  
いるぞ」。

チェロ弾き「ある上手なチェロ弾きが  
練習しているとその音色で動物たち  
が集まってくるらしいぞ。なんでもこ  
の前は幽霊達と一緒に一晩中弾き続  
けたとか」。

ヴィオラ弾き「ある上手なヴィオラ  
弾きが…」

ヴァイオリン弾き&チェロ弾き「君  
の勝ちだ！」(うまいヴィオラ弾きな  
ど存在しない!がこの話の落ちです  
ね)。

・人質編

刑事1「警部。犯人は人質を捕って建物  
に立てこもっています」

警部2「人質は？」

刑事1「バイオリン奏者が1人とチェロ  
奏者が2人の3人です」

刑事2「わかった。じゃあ犯人の説得に  
あたってください」

刑事1「了解」

刑事1「警部。犯人は人質を捕って建物  
に立てこもっています」

警部2「人質は？」

刑事1「バイオリン奏者が3人です」

刑事2「わかった。じゃあ建物ごと爆破  
しろ」

刑事1「了解」

(これもヴィオラ奏者など必要ない事  
を現わすジョークですね)。

最後にちよいと長編物を。

・シカゴ交響楽団のメンバーのお話。  
ガレージセルで古ぼけたランプを見

つけ、家に持って返って洗うとランプ  
の精が現れた。

「旦那様、私をランプから出して下さってありがとうございます。大変心苦しいのですが私は力の弱いランプの精なので願いを1つしか叶えられませんが、どうぞ願い事をおっしゃって下さい」

「それは凄いです。どうせなら私の願い事1つで世界をひっくり返してみたいものだな」と彼は答えました。それから壁に貼ってある世界地図に近づいてこう言った。

「ここに中東の地図がある。ここは何年もの間戦争状態だ。私のただ一つの願いで、この地に平和をもたらしたい」ランプの精はゴホゴホとせきこんで答えました。

「ああ、それは・・・それはちょっと仕事が大きすぎますね。ええと、ほら、この件はあのやっかいな宗教つてやつにかかってくるでしょ、それからええと、ここの子供たちはティーンエージャーの頃から戦うことを覚えてしまっているよ。とても申し訳ないの

ですが何か他の願い事を・・・」

「わかった、それなら私のたった一つの願い事として」彼は答えた。

「シカゴ交響楽団のヴィオラセクシオンが完璧に演奏するのを聞いてみたい」

ランプの精はちょっと考えてから壁に貼ってある世界地図に近づいてこう言った。

「中東の平和の可能性を考えてみましょう」

これはノーヒントです。皆さんもうお解りですよ。

いくつか紹介しましたが、この他にも世界中には色々なヴィオラジヨークがあります。しかし、下手なヴィオラ奏者ばかりではなく昔からヴィオラの名手は存在します。

有名所では、プリムローズ、バシユメツト、ヒンデミット、タベア・ツイマーマン。日本人では、今井信子、店村眞積、川崎雅夫、などがいます。

また話は変わりますが、弦楽器の世界では音の高さが低くなればなるほど人間的にアバウトになると言われたりもします。

例を挙げると、ヴァイオリンは真面目、チェロは女好き、コントラバスにいたっては頭が悪いとまで言われることもあります(チェロをやっている我々としては心外ですけど・・・??)。

今回、いくつかのヴィオラジヨークを紹介しましたが、残念ながら時間がなく、ハンガリーでのヴィオラジヨークを調べることが出来ませんでした。もし、また機会がありましたらハンガリーで仕入れたジヨークを紹介できればと思っております(ヴィオラの方、ごめんなさい)。

## 音楽を教えるということ

城島 高明

先日、リスト音楽院にてピアノのレッスンを見学する機会に恵まれた。生徒は日本からやってきた小・中・高校生。皆、日本である程度の選抜を受けてきた生徒たちである。担当の教授はおおらかに生徒たちの音楽性を見つけ、同伴する母親はなぜか生徒以上に緊張した面持ちで見守っていたりする。

ハンガリー人の教授の言葉には日本語の通訳が提供されているとはいえ、実質的には音楽を共通語としたこの種のレッスンにはなんともいえず興味深いものがあつて、ただ見ているだけの私にとってはあつという間の数時間であつた。

全てのレッスンに共通して感じたのは、たった1時間で見違えるほど進歩してしまう彼ら彼女らのスポンジのような吸収力である。もちろん個人差もあつ

て、1を聞いて非常に多くのことがわかってしまう子もいれば、そうでない子もいるのだが、横で見ている私には、あの年代のもつ爆発的な進歩のスピードが、うらやましいと思われてならなかった。教授法が素晴らしいのか、生徒の力なのか、相乗効果というべきか、レッスンの最初と最後の演奏はどこがとはいえないが確かに違って聞こえる。不思議！

音楽を教えるというのは本当に面白いことだろうなあと、そうした経験のない私は思っている。理由は簡単。教えるということがたとえようもなく難しいことに思えるからだ。考えてみれ

ば不思議な作業である。教授は自らが美しいと思う“音の並び”を、恐らく様々な要素に分解して教えようとするに違いない。例えば音色、テンポ、パッセージの方向性、そして作曲者の意図など。楽曲を構成する要素はもちろんこれだけではないが、それらの要素のとらえ方は演奏者によって時として驚くほど異なる。どのとらえ方が正しいなどとは一切言えない世界といったらよいかもしれない。それでいて達人の手にかかると、ピアノから出てくる音の並びは本当に美しい訳だから、唯一の正しさとは聞く人に美しいと感じさせる説得力があることといえるのかもしれない。

音楽を教える作業の難しさは次のような試行錯誤が必要だからではないか。つまり、教授が子供（もちろん大人でも良い）というブラックボックスに、対象となる曲の解釈やその解説をインプットし、それに対して子供が作り出す音楽というアウトプットを聞いて子供の持つ音楽の処理プロセスを解析する。そし

て教授自身がより美しいと思うアウト  
プット（音楽）を生徒が出せるよう、イ  
ンプットを微調整して行く。しかも、教  
授が生徒に求めるのは、テープレコーダ  
ーのように自分と同じ演奏を再生させ  
ることではなく、あくまでも生徒自身の  
やりかたで、美しい音楽を生み出させる  
ことなのである。

問題があつて、参考書があつて、答え  
がある試験によつて、減点法で達成度・  
優劣を評価しがちな日本の教育に比べ  
ればきつと対極にある教育と言えるの  
かもしれない。教育は尊いもので、どち  
らが良い・悪いとは一概に言えないけれ  
ど…。

この日のレッスンで印象に残つたこ  
とを紹介したい。ある生徒の弾いた曲の  
中に笛を吹くように演奏した方が良い  
（と教授が思っている）ところがあつた。  
教授はこれを パパゲーノが笛を吹くよ  
うに弾くんだよ”と説明した。言葉だけ  
ではわからないと思つたのか、身振り手  
振りを交えながら、口笛まで使つてパ  
ゲーノの笛を吹くシーンを演出した。

“わかるでしょう？あのシーンだよ。”

生徒の様子から通訳の方が気を利か  
せて（もちろん日本語で）ちよつと聞い  
てみた。“パパゲーノって知ってる？”

屈託なく首を横に振るこの生徒の、首を  
横に振つた理由を教授はわからなかつ  
たのだが、このあたりに日本とハンガリ  
ーの音楽環境の違いがはつきりと現れ  
ていて興味深い。教授はこの生徒がまさ  
かモーツアルトの魔笛に出てくるパ  
ゲーノを知らないとは思わなかつたし、  
生徒の方はパパゲーノってなんだろ  
う？と思つてきよとんとしていたわけ  
である。家ではハンガリーの家庭ではと

ても買えないような立派なピアノで練  
習しているかもしれないこの生徒と、小  
さい頃から魔笛をはじめとしたオペラ、  
バレエ、コンサートに“手軽に”触れる  
機会に恵まれたハンガリーの生徒が同  
じ曲を弾いて、どちらが聴衆に対して説  
得力のある演奏をするか。これが全く予  
想できないところもまた音楽の魅力と  
いえるのかもしれない。

## 討論

### 「日の丸・君が代」を考える

盛田 常夫

#### 大学では歌わない

卒業式や入学式が近づくと常に話題になるが、今年はこの問題をめぐって広島世羅高校の校長が自殺したこと、再び論議が起こっている。問題はたんに日の丸を掲げるか否か、君が代を歌うか否かではなく、戦後日本の戦争責任問題の処理に深く関わっている。そのことへの省察なしに、これを論議しても始まらない。

私自身、高校に入学して以降、君が代を歌った記憶がないし、歌いたくもない。一部の右翼的な大学を除き、大学の入学式や卒業式で君が代が歌われることは

ない。文部省が国立大学へどのような指示を出しているか知らないが、ほとんどの国立大学でも君が代は歌われていないはずだ。

私が教鞭をとっていた法政大学では、武道館の天井に掲げられている日の丸を取り外すかどうか話題になったことはあるが、卒業式・入学式をとおして君が代は歌われたことがなく、学生との論争の対象になったこともない。

文部省による日の丸・君が代指導は現在のところ、高校教育のところでは止まっている。それは指導の根拠が教科書の指針となっている文部省作成の指導要領という奇妙な手引きに基づいているからだ。これ以外に法的な根拠はない。私立の教育機関では文部省検定の教科書を使っていないところも多く、君が代を指導していないところも多い。

キリスト教系の学校では君が代を歌わないのはもちろん、日の丸を掲げるところは少ないだろう。明治学院では日の丸・君が代だけでなく、元号を一切使用

せずすべて西暦表示をとっている。私も印刷文書に元号が書かれている場合を除き、元号を使用しない。

#### 文部省はなぜ強制したがるのか

政府の機構のなかで、文部省だけはや時代錯誤的な機関になっている。ここには歴代、皇国史観の持ち主が主要ポストをしめ、また思想を同じくする自民党の文教部会のいわゆる文教族が眼を光らせ、特に教科書検定で権限を振るってきた。家永検定訴訟でその全貌が明らかになっている。日本の学校教科書がちつとも面白くないのは、検定過程のなかで内容が骨抜きにされ、無味乾燥な文章だけが残ってしまうからだ。

私が編集に参加していた中学公民教科書は教員の教科書採用権が強い大都市と主要な私立学校でしか採用されず、自民党と文部省が左翼的な偏向があると眼を光らせていた。検定時には教科書調査官が200余ページの教科書からおよそ600 800ヶ所の修

正を指示するのが常で、この指示を受けるだけで20時間ほどかかる。調査官がここで手抜きをすれば、後で自民党の文教族から怒鳴り飛ばされるので、とにかく徹に入り細に入り粗を探さなければならぬ。自衛隊を「軍」と称してはならない。「資本主義」という用語の使用は好ましくない、等々の細かな指示が下されたものだ。指示を受けた後、後日、一つ一つについて修正を受けるか受けないかを決めるわけだが、絶対修正Aと付された箇所は、修正しないと許可されないという仕組みになっている。

とにかく、自民党文教族と文部省幹部は教科書の左翼偏向を阻止し、国家への忠誠と天皇への尊敬の念を強めることを最大の願望としている。その象徴が日の丸であり、君が代であり、戦前の日本軍国主義の罪悪を殊更に暴くことは好ましくない。これを否定するものは共産主義者か非国民だという時代錯誤的な感覚が残っている人たちなのだ。それにしてもなんとというアナクロの世界だろ

う。もっと他に力を入れなければならぬ。いことがあるだろうに。

### 最初はこつそり、後は大胆に

戦後、アメリカの占領政策で日の丸の掲揚や君が代の唱和は禁止された。日本軍国主義の象徴だったのだから、当然のことだろう。戦後に制定された皇室典範から元号の規定は削除された。これが解禁されるのは、1950年。東西の冷戦が始まり、アメリカが日本を自国陣営に引き込むために、戦犯の釈放や自衛隊の設立を認め、日の丸や君が代が解禁されたわけだ。

日の丸掲揚と君が代唱和が教育指導要領に明示されたのは、1958年。法律的な根拠なしに、静かに教育現場に持ち込まれた。1977年には教育指導要領の「君が代斉唱」を「国家斉唱」と用語変更し、1989年には「指導が望ましい」から「指導するものとする」という表現に変わり、以後、各地の教育委員会が学校長に日の丸の掲揚と君が代の

斉唱を職務命令として指示するという事態にいたっている。

教育省がこんなことをやっているのは、先進国で日本ぐらいだろう。この面では日本はとても先進国とはいえない。少なくとも文化的知的な国家がやることでないことは確か。

もっとも文部省が張本人ではない。1979年には元号法が国会を通り、それまで法的規定のなかった元号に根拠を与え、文部省が学校での元号使用の通達をおこなっているが、明らかに皇国史観を支持する自民党の一部勢力が画策したものだ。天皇の生死で時代名称を変えるなど、時代錯誤も甚だしい。元号と天皇の死が結びつけられたのは明治になつてからだということも知っておくべきだ。

### 忘れられた戦争責任

ほとんどの日本人はもう日本軍国主義の戦争犯罪や戦争責任に関心がないか、責任がないかのように振る舞ってい

る。しかし、殺された側に見れば、自分の目の黒いうちは絶対に日本人を許さないと考えておかしくない。にもかかわらず、広島と長崎の原爆被害で、あたかも日本人が被害者のように考えている人もいるだろう。そういう鈍感さがアジアで嫌われる理由だ。

戦争責任の風化の原因は、明らかに天皇の戦争責任が問われなかったところから出発している。天皇制の形式が利用されたという言い訳はあるが、戦前の体制はまぎれもない立憲君主制。それが犯した国家の戦争犯罪であれば、天皇は退位して、天皇家は俗に下るべきであった。アメリカの占領政策の変更がこれを中途半端な象徴天皇制にとどめさせた。それが戦後のあらゆる曖昧さの出発原点なのだ。

君主制の曖昧処理で、あらゆることが曖昧、無責任になった。B級戦犯だけでなく、A級戦犯のほとんどが政財界に復帰し、戦後の政治を牛耳ることになった。歴代政府を構成した政治家やロピスト

はこういう人たちから成っている。だから、こんな歴代政府に戦争責任が語れるわけがない。アメリカの占領政策の変更で、ドイツのように戦争責任を明確にするチャンスを失ってしまったわけだ。

それが教育現場に波及しているのが、現在の日の丸・君が代問題だ。戦争責任との関連を明瞭にしなければ、この問題は決着しない。面白いことに、自民党の文教族や文部省の高官は、君が代の法制化に熱心ではない。君が代の是非が公に議論されることにより、君が代の問題がより鮮明になって、自らの立場を守れなくなる恐れがあるからだ。

### 君はなぜ「君が代」を歌う

20世紀には多くの国で立憲君主制が統治体制として存続していた。二つの世界大戦を通して、これが廃棄され、人民民主制へと転換された。ハプスブルグ帝国が消滅したのは1919年で、同時にハンガリー帝国も消滅したわけだ。もうオーストリアにもハンガリーにも皇

族はいない。それを寂しいと思うかどうかは別の問題。ハプスブルグの末裔たちはそれぞれに民間人として活躍している。当然、オーストリア人は「ハプスブルグよ永遠なれ」というような歌を国歌としていない。

ところが日本人は、「君が代」の歴史にも意味解釈にも無頓着で、「天皇家よ永遠なれ」と平気で歌っている。訳が分からない子どもたちにお経を読ませるように教えて何になるのか。それがおかしいと思わないところが、脳天気というか、無責任極まりない。こんなことだから、周辺のアジア諸国から批判されても仕方がない。本当に悪いとは思っていないから、謝り方に誠意がない。だからいつまで経っても同じ批判が繰り返される。

### 「内なる天皇制・オウム」

オウム事件を見てみると、戦前の天皇制と同じだということが分かる。集団主義のなかで自己を埋没させ、あらゆる非

合理をやつてのける大胆さは戦前の軍国主義と同じ。すべて尊師の名の下に呪文を唱えたやり方は、天皇万歳と叫んで戦死し、宮城（皇居）の方角に向かつて最敬礼し、君が代を斉唱した軍人と同じではないか。そこには罪の意識はない。あつてもそれは自分の罪でなく、尊師のため、天皇のために仕方がなかつたという言い訳である。

多くの人はオウムがこんな事件を犯した後に、まだオウムに残つて尊師を慕う者がいることを理解できないというだろう。しかし、天皇制を支持する人はどうなんだろう。天皇制国家が何百万人という人を殺していながら、未だに天皇や天皇制を支持するのだろうか。こちらを理解する方が難しい。

つまり、オウム事件は他人事ではなく、まさに日本人そのものが持つている集団主義の狂気と無責任に源をもっており、それこそ日本人が心の内に抱える「内なる天皇制」そのものだ。オウムの危険と不合理に対抗して命を落した坂

本弁護士は、戦前、戦争反対を唱え、特高（思想警察）に捕らえられ、拷問を受け命を落とした殉教者と同じだ。神奈川県警は坂本弁護士が左翼系の弁護士事務所に所属しているという理由から、捜査に熱心でなかつた。そうした偏見がより大きな殺人事件を引き起こすことになつた。もし神奈川県警が力を入れてオウムを捜査していれば、サリン事件を未然に防ぐことができたはずだ。

日本人が集団主義、「内なる天皇制」から脱却することが、文明・文化国家としての自立の課題なのであつて、けつして日の丸を掲げたり、君が代を歌うことではない。

#### 「ピル解禁・夫婦別姓」反対も同じ

仕事を続ける女性が結婚後も同じ姓名を使用したいと考えるのは自然なこと。それは女性が自立していくという近代社会の発展の結果だ。「選択したい人が選択できるようにする」というもつともな法律なのに、まかりならんという一

部の自民党議員の強引な反対で宙に浮いている。その議員の大方が日の丸・君が代問題で奮闘している文教族なのだ。それをよく知っていた方がよい。彼らのような政治家が社会生活の重要な事柄を左右しているのだ。ピル解禁に反対している構図も同じ。

バイアグラが半年程度の薬事審議会の議論で許可になり、ピルは10年かかっても許可されないという奇妙なアンバランスは、自民党の一部の頭の堅い、しかしいわゆる声が大きく、恫喝タイプの皇国史観の政治家の力によるところが大きい。さすがに国際会議で笑い物になり、急いで厚生省はピル認可を準備しているが。

日の丸・君が代をめぐる問題は、日本社会の固有の問題だということ認識すべきだろう。せめて海外にいるわれわれがそのことにもっと眼を向けるべきだ。そうでなければ、ただの経済動物（エコノミック・アニマル）と嘲笑されても仕方がない。

# ハンガリー限定公開・世紀末の日食

栗田 良春 (ykuriri@bun.net)

今年の八月十一日(水)正午前後に皆既日食がハンガリーで見られます。この日食は日本では見られず、また滅多にない貴重な機会のひとつです。どのくらい「滅多」かという点、日本では二〇〇九年七月二二日に奄美大島、硫黄島で、二〇三五年九月二日に能登半島、関東地方で、そしてその次は、二〇六三年だそうである——これはもう、我々の人生の外——そのくらいの「滅多」です。ブダペストでは部分日食にしかならないので、皆既日食を見るために、次頁の地図の帯の中心線に近いところに出かけましょう。夏休みでもあるし、地上の些事から離れて、例えばバラトン湖とかに。

さて、ここで復習をしておけば、日食とは太陽と月と地球がこの順に一直線に並び、地球のある地点から見ると月によって太陽が隠される現象のことでした。その隠され方で部分日食、金環食、皆既日食の三種類がありますが、今回は(地図の帯の中では)完全に隠される皆既日食です。地球から見た太陽と月の見かけの大きさは殆ど同じなので、完全に隠されている時間はたかだか二分くらい、そして欠け始めは午前十一時二〇分過ぎで、皆既が昼過ぎ十二時五〇分くらい、そして終わりが午後二時十分前後です(いずれもバラトン湖あたりでの現地時刻)。

冒頭に書いた「貴重な機会」、どのくらい「貴重」とかという点と次

のような光景を見ることができるとのことです。

一一時二十分、太陽と月が近づいてやがて接し、だんだんと月が太陽を隠して太陽が三日月のような形になる。木漏れ日のつくる地上のたくさんの影は普段の円形ではなく、三日月の形となる。気温が下がり始める。一二時二十分頃、空は鈍い鉛色となる。空には明るい星が見え始め(普段見られない水星も三日月形の太陽の近くに輝き)、地面にはシャドーバンドと呼ばれる縞模様(光の影の)流れが地面を這うように走る。

一二時四十八分、太陽は殆ど月に隠されて最後の光は月の輪郭の(山と谷の)谷間から漏れて数珠のように見える。これはつまり月の山の谷あいには日が沈む光景を地球から見ていることになる。太陽が非常に大きく「月平線」いっばいの太陽が沈み、いくつもの谷あいから光が漏れる、これをベイリーの数珠と呼ぶ。この頃、突然の気温の低下、真昼に訪れた突然の闇に鳥獣が怯えて騒ぎ、走り飛び回る。この表現は多少大げさですが、動物生態の専門家達もそこに関心を持っているようです。

そして月の最後の谷間だけからの光が、暗くなった空に一カ所だけ輝く。これと呼んで「ダイヤモンドリング」。数秒の後太陽は完全に隠される。古めかしく書けば「皆蝕」状態である。太陽は炎をあげて燃えている光の球だから、月によって完全に隠された時、その高く立ち上る炎(紅色の彩層やプロミネンス)が現れ、これらを包んで真珠色のコロナが太陽の半径の数倍まで広がっていることを見る事が出来る。普段は太陽光球が明るすぎて見えない。数秒

後には彩層も隠され、暗い空にあやしくコロナが輝く。このコロナは美しい、肉眼で見ただけでもすばらしい景観であるといわれています。この二分強の皆既状態の継続の後、彩層が現われ、ダイヤモンドリング、ベイリーの数珠と逆の順序を経て月は太陽から離れる。以上が三時間あまりの天体シヨウのあらすじです。

あといくつか補足と注意を以下に書き並べます。

\* 双眼鏡や望遠鏡で太陽光球を直接見ることは、目にとってきわめて危険です。決してお使いにならないように。

\* 太陽を肉眼で見るときは、適当な大きさの板ガラスの破片（平面でゆがんでいないもの）にローソクの煤をつけたものが手軽でよいでしょう。その場でローソクであぶって濃さを調節できる利点があります。

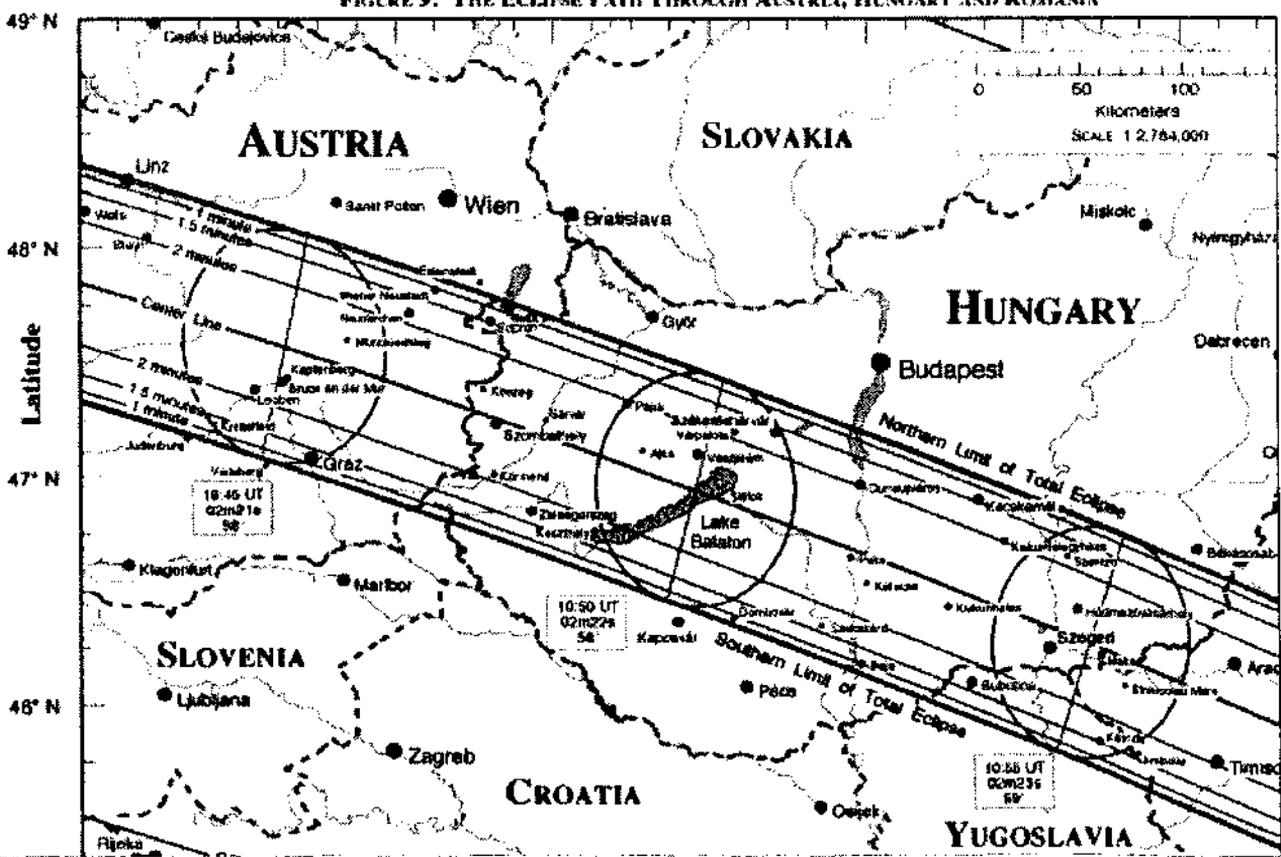
\* NASAなどのホームページから更に詳しい情報を得ることが出来ます。たとえば、<http://umbra.nascom.nasa.gov/eclipse/>、<http://napofogytakozas.mese.hu/>

\* この作文は、平凡社の大百科事典と誠文堂新光社の天文年鑑を参考にしました。

「太陽と死は、じつと見つめることは出来ない」というフランスのモリストの警句がありますが、この日はその一方をじっくり見つめたいものです。ついでに書けば、日本での最古の記録は日本書紀にある推古天皇三十六年三月二日（六二八年四月十日）の日食だそうです。何はともあれ、晴れることがなにより、晴れるといいですね。

### Total Solar Eclipse of 1999 August 11

FIGURE 9: THE ECLIPSE PATH THROUGH AUSTRIA, HUNGARY AND ROMANIA



## 掲示板

パソコンを安く譲って下さい。

日本のウィンドーズのオペレーションシステムで、日本語のキーボードのもの。中古で、そこそこのパフォーマンスが必要。説明書が必要です。(もしあればカラープリンターも安く譲って下さい。)

連絡先: TEL/FAX 227-8311

貸し部屋あります。

第一地下鉄の終点に近い家で、貸し部屋があります。

ご希望の方は御連絡下さい。

ケヴェイ 市川静夫

1142 Sakszó - park, 11.

2 216 476

3 216 993(桜ん坊)

## 寿司の食べ方

握り寿司を召し上がる時には、箸、又は手で取って、寿司を横にしてタネとシヤリと半々に醤油をつけて召し上がるか、タネ側にだけ醤油をつけて召し上がります。

\*\*\* 一番注意して頂きたいもの\*\*\*

↳ 巻物と軍艦(軍艦巻き)↳

巻物を召し上がる時に箸か手でガリを摘んで、そのガリで巻物の上に醤油をチヨロチヨロとつけて食べます。そうしますと巻物が醤油を吸いすぎませんので、塩辛くなく美味しく味わえます。また、醤油をつけたガリを巻物の上において、いっしょに食べても美味しいです。

\*特に軍艦は注意したいものです。なぜなら、タネに醤油をつけるには、タネを下に向けなければならぬので、タネが醤油の中に落ちてしまいます。

\*手巻き寿司も、ガリを使って醤油をつけて食べます。

? 「軍艦巻き」とは?

イクラ、雲丹、貝柱などを「軍艦にのせる」といいます。(板前の業界用語です。)

(外間 勇清)

## 編集室より

ハンガリーを離れられた方に e-mail で「ドナウ通信」が送れます。編集部までご相談ください。

次号の締め切りは、6月中旬とさせていただきます。

TEL/FAX: 266-4967

e-mail: t-morita@hungary.net